

授業概要

本授業では、小学校における活動型の「外国語活動」（中学年）と教科型の「外国語」（高学年）についての基本的な知識と理解、さらに児童の現状に合った適切な指導方法及び児童の評価に関する知識と理解を身につけることをねらいとして講義する。

それらの知識を基に、児童が楽しみながらコミュニケーションを図る資質・能力を育成する方法について考え、実際に学習指導案を作成し、模擬授業（マイクロ・ティーチング）に取り組む。

また、担任教員として授業を英語で進行するために、必要な指示を出したり、適切なモデルを示したりできる基本的な英語の運用能力の育成も図る。

授業計画

第 1 回	オリエンテーション・学習指導要領に見る外国語活動と外国語
第 2 回	第二言語習得に関する知識と外国語教育実践への応用
第 3 回	英語による授業実践・教員の英語運用能力
第 4 回	小学校教育の理念と現状の理解(1) 3・4年生の指導のポイント
第 5 回	言語活動の工夫（目的や場面、状況等を明確にした言語活動）
第 6 回	マイクロ・ティーチング（外国語活動①）
第 7 回	マイクロ・ティーチング（外国語活動②）
第 8 回	小学校教育の理念と現状の理解(2) 5・6年生の指導のポイント
第 9 回	マイクロ・ティーチング（外国語①）
第 10 回	マイクロ・ティーチング（外国語②）
第 11 回	小学校の外国語授業実践における文字指導の方法と留意点
第 12 回	指導計画（学習指導案）の作成(1) 指導目標の設定
第 13 回	指導計画（学習指導案）の作成(2)
第 14 回	小学校外国語の課題と展望
第 15 回	本授業の総括・学習指導案のフィードバックと改善
第 16 回	筆記試験

到達目標

- ①学習指導要領や第二言語習得理論に関する基本的な知識が身につけることができる。
- ②コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成する外国語指導の計画を立てることができる
- ③授業を英語で進行するために、必要な指示を出したり、適切なモデルを見せたりすることができる

履修上の注意

- ・「子ども英語」も履修することが望ましい

予習・復習

- ・毎時間冒頭に、英語の音読や実演の練習をするので、授業外でもできるようになるまで練習すること
- ・定期試験に備え、授業で学習した指導理論等の専門用語を自分の言葉で説明できるようにしておくこと

評価方法

- ①リフレクション・シート 20%
- ②定期試験（筆記試験） 50%
- ③実技テスト（英語音読&マイクロ・ティーチング） 30%

テキスト

授業内で適宜資料を配布します